

経済センサス - 基礎調査に関する研究会（第2回）議事概要

- 1 日時：平成23年7月11日(月) 14:00 ~ 16:00
- 2 場所：総務省統計局6階 特別会議室
- 3 議題：(1) 経済センサス - 基礎調査の実施に向けた今後の主な検討課題について
(2) 経済センサス - 基礎調査の実施方法における検討課題について
(3) 経済センサス - 基礎調査の調査事項における検討課題について
(4) その他
- 4 出席者：清水座長、廣松委員、森委員、菅委員、経済産業省構造統計室長
統計調査部長、調査企画課長、経済統計課長、経済基本構造統計課長
- 5 議事概要：
 - (1) 「実施に向けた今後の主な検討課題について」事務局より説明後、意見交換
→ データベースを活用した調査名簿の作成、集計方法等については、次回以降の研究会にて整理する。
 - (2) 「実施方法における検討課題について」事務局より説明後、意見交換
→ 実施方法については、企業ヒアリングや試験調査に関する地方への概要説明等も踏まえ、更に詳細を詰めた上で検討を進めることとする。
 - (3) 「調査事項における検討課題について」事務局より説明後、意見交換
→ 調査事項については、用語の定義等も含め、今後適宜委員から意見を伺いながら、詳細を詰めていくものとする。

【主な意見等】

- ・ 企業構造の事前把握と事業所調査の結果を踏まえ、どのようにデータベースへ反映し、経済センサスとして集計していくかについて検討を進める必要がある。
→ 年次ごとに母集団名簿を更新することの検討と並行して整理していきたい。
- ・ 商業統計調査との同時実施に当たり、商業事業所かどうかの判断はどのように行うのか。
→ (企業構造の事前把握結果を踏まえた) データベースの情報を使用し、事前に商業事業所とそれ以外の事業所で調査関係書類を分けて封筒詰めする予定。
- ・ オンライン調査システムについては試験調査と本調査で別の仕組みを使うことになるか。
→ 本調査では、政府統計共同利用システムを利用するが、新システムの稼働が25年からのため、試験調査においては民間事業者のシステムを利用する予定。
- ・ 従業者を的確に把握できるような調査票様式とすべきだが、これまでの経緯等も踏まえ更に検討が必要。